

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

息軒だより

百里を行く者は
九十里を半ばとす



令和3年度 12・1月号 (第29号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝 館長 川口眞弘
〒889 - 1605
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1
TEL:0985-84-0234
FAX:0985-84-2634
e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp
ホームページアドレス
<https://yasuisokken.jp/>



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます。

あらためて… 安井息軒先生ってどんなところがすごい?!

文豪・森鷗外の書いた小説『安井夫人』は戦前の教科書に 37 回も繰り返し登場し、戦前の教育を受けた日本人はほとんど“安井息軒”を知っていました。“息軒”の名前は、夏目漱石の代表作『吾輩は猫である』の中にも登場するほどです。

記念館に来られる見学者の方々からは「息軒先生はどんな人だったの?」「どんなことをした人?」とよく質問されます。今回は「とにかく『地味にスゴイ!!』」安井息軒先生の4つのすごさを紹介します。

1 学者としてすごい

- ① 基本的に儒学者であるが、法学にも精通、洋学や蘭学にも詳しい知の巨人で、日本を今日のような法治国家、近代国家へ導いた。
- ② 朱子学以外の学者として初めて昌平坂学問所の教授になった古学派の考証学者。
- ③ 文久の三博士の一人と呼ばれた。
- ④ 学識の深さは日本のみならず中国(清)や朝鮮にも知られ、日本随一と言われた。
- ⑤ 息軒、父滄洲、孫小太郎の書籍等約 7000 点が慶應義塾大学に「安井文庫」として大切に保管され研究されている。

2 教育者としてすごい

- ① 清武「明教堂」、飢肥「振徳堂」、江戸「三計塾」、そして「昌平坂学問所」で国や地方、藩を支えるおよそ 2000 人の優秀な人材を育てた。
- ② 谷干城や陸奥宗光、井上毅、平部嶠南(きょうなん)、小倉処平、河原順信、三好退蔵、品川弥次郎等そうそうたる弟子がいる。
- ③ 明治2年、勝海舟と山岡鉄舟から、明治天皇の侍講(個人教授)になるよう依頼された。(結果的には、高齢と病気を理由に辞退した。)
- ④ 明治になり、三計塾には知事や官僚等の入門が相次ぎ、息軒の教えを新しい国や地方の創生に活かした。息軒は一人一人の個に応じた教育、自らの後ろ姿で教える教育を行った。

3 政治アドバイザーとしてすごい

- ① 第14代将軍徳川家茂から江戸城に呼ばれて謁見。老中等とは日頃から会話を交わし、さまざまなアドバイスをしていた。
- ② 幕府の政治の中心的存在であった水戸藩主徳川斉昭(なりあき)からは今後の幕政の在り方について意見を求められて献言。感動した斉昭はお礼に直筆の書を贈った。
- ③ 飢肥藩に対しても藩主伊東祐相や平部嶠南との深い絆に基づいてアドバイスや進言をした。

4 郷土や日本発展への貢献がすごい

- ① 飢肥に移住した年、藩の長年の悪習であった間引きを禁止させた。
- ② 藩の財政や人々の生活向上のためさまざまな情報を収集し、二期作や養蚕について書物にまとめ、藩に紹介した。
- ③ 種痘を紹介し、天然痘の撲滅に貢献した。
- ④ 敬老への取り組みについて進言し、実践させた。
- ⑤ 多くの優秀な弟子を育て、彼らが新しい清武や飢肥、宮崎、そして日本を創った。



(文責:川口)

知の巨人 安井息軒に“ふれる・親しむ・まなぶ”そして“まねぶ”

いまだ新型コロナウイルス感染の渦中ですが、それでも10、11月はさまざまな講座やイベントが再開され、小学生の遠足や社会見学等の来館者で久しぶりに記念館がにぎわいました。

平凡な日常の有り難さを痛感している今日この頃です。
にぎわいを取り戻した記念館の様子をご紹介します。



11/9 大宮小4年生 167名



11/16 日南市殿所福祉推進会 17名



11/29 生目台西小3年生 33名



11/19 清武小3年生 106名



11/25 加納小4年生 159名



11/18 西池小4年生 175名



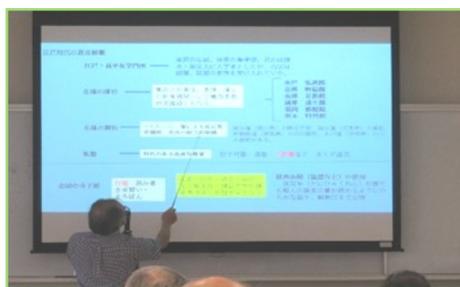
10/8~11/7
安井息軒顕彰夏休み作品展



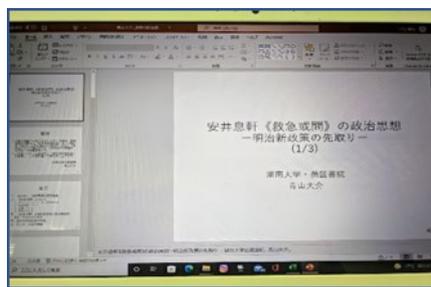
夏休み作品展 表彰の一コマ



記念館講座・みやざき三計塾・清武町史セミナー



記念館講座「阿萬豊蔵」那良則人氏



記念館講座「救急或問」青山大介氏



記念館講座「若山牧水」
川口眞弘館長



記念館講座「息軒の底力Ⅱ」諸岩則俊氏



みやざき三計塾 山元宣宏氏



清武町史セミナー 松浦祥雄氏

★記念館これからのイベント案内★



○ お佐代さんを偲ぶ会

令和4年1月8日(土) 10:00~12:00

息軒先生の妻・お佐代さんを偲び、献花等を行います。



○ 安井息軒顕彰小学生かるた大会

【予選】令和4年1月8日(土) 13:00~16:30

【決勝】令和4年2月11日(金・祝) 10:00~ ※「安井息軒梅まつり」当日に開催します。

『息軒かるた』を使用します。



○ 安井息軒 写真・短歌・俳句・川柳展

【募集期間】令和4年1月22日(土)~3月1日(火)

【展示期間】令和4年3月5日(土)~3月27日(日)

【表彰式】令和4年3月21日(月・祝) 10:00~12:00

応募方法等については、ホームページにてお知らせします。



○ 呈茶

令和4年2月2日(水)~2月9日(水) 13:00~15:00

※2月7日(月)は休館日のため、呈茶もお休みです。

茶室「香梅庵」にて、無料でお茶を振る舞います。各日先着30名です。



○ 安井息軒梅まつり

【日時】令和4年2月11日(金・祝) 9:30~12:30

【会場】宮崎市安井息軒記念館、安井息軒旧宅

花見と地域交流のイベントを開催します。



※行事の内容、日程につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候等の諸事情により、変更になる場合があります。予めご了承ください。
イベントの詳細や最新情報はホームページをご覧ください。

令和3年度 冬の企画展「安井息軒 江戸での活躍」

期間 令和4年1月15日(土)~3月27日(日)まで

会場 宮崎市安井息軒記念館 特別展示室

開館時間 9:00~16:30(最終入館16:00)

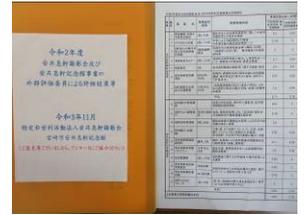
休館日 月曜日 祝日の翌日の平日

入場無料



外部事業評価委員による各事業の評価結果を記念館図書閲覧室で開示

11月2日(火)から、令和2年度の安井息軒顕彰会及び安井息軒記念館事業の外部評価委員による評価結果等を記念館閲覧室で開示しています。24事業について、今年の4月から事業担当者による自己評価や顕彰会役員による内部評価を行い、その後外部評価委員7名による評価を実施しました。サービスの質の確保と向上のために、今後外部評価結果内容に係る所定の手続きを経て、事業実施・改善に向けて取り組んでまいります。



令和3年度「第19回 安井息軒梅まつり」の内容が決定



「安井息軒梅まつり」(令和4年2月11日<金・祝>開催予定)の実施に向けて、第3回実行委員会を開催しました。その結果、今年度は①規模の縮小、②午前中のみ開催、③飲食物の提供中止、④国や県の新型コロナウイルス感染対策ガイドラインの遵守等、コロナ禍に対応した形で実施することになりました。今後、目的である安井息軒顕彰の普及・啓発、記念館施設等の利活用及び参加者の交流等、充実したイベントを目指して取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

梅まつりボランティアスタッフを募集していますので、「息軒かるた」「息軒クイズラリー」「四半的弓道」等の受付や運営にご協力いただける方は、安井息軒記念館までご連絡ください。

宮崎市教育委員会文化財課との連絡会を開催

11月18日(木)文化財課と記念館の指定管理者である、安井息軒顕彰会役員による連絡会を開催しました。安井息軒記念館施設の維持管理等の状況や課題、さらには現地視察確認等を行った後、意見交換をしました。同課から、経費を要する施設補修等は市財政状況が厳しいことから優先順位の高い案件、緊急を要する案件から計画的に修繕をしていくとの報告がありました。今後も、密接な情報交換を図りながら、同課と更なる改善に向けて取り組んでまいります。

安井息軒旧宅の清掃

10月30日(土)、顕彰会会員と運営協力員17名で旧宅清掃を行いました。3台の草刈り機や電動ヘッジトリマー、剪定ばさみ等を使用しての草取り、刈り取った草の処理等、約2時間の作業でした。

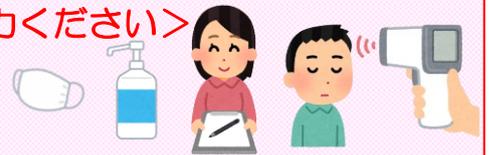
11月には小春日和の中、宮崎市内の小学校5校の児童約700名をはじめ、一般見学者も大勢訪れ、きれいになった旧宅をゆっくり見ていただくことができました。今後の清掃日は、2月10日(木)の午前9時～、翌日の「梅まつり」の準備を兼ねて実施します。ボランティアのご参加をお待ちしています。

(参加のご連絡は安井息軒記念館 84-0234 まで)



<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。

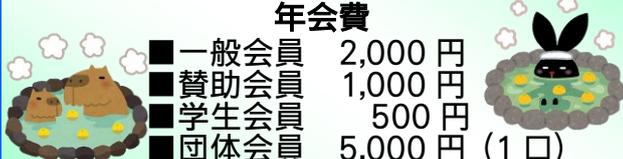


会員随時募集中

NPO法人 安井息軒顕彰会では新規会員を随時募集しています。お問い合わせは右記事務局まで。

年会費

■一般会員	2,000円
■賛助会員	1,000円
■学生会員	500円
■団体会員	5,000円(1口)



※会員の近況報告、情報提供などがありましたら、事務局までご連絡ください。

☆皆様からお預かりした会費は、情報紙等お知らせ郵送の他、自主事業の財源として活用されます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1
(宮崎市安井息軒記念館内)

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

